



福山基署発 0904 第1号
令和6年9月4日

関係者各位

福山労働基準監督署長



死亡災害多発に伴う取組の強化について（要請）

平素より、労働安全衛生行政の推進に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、福山労働基準監督署管内（福山市、府中市及び神石高原町）における令和6年の労働災害による死亡者数は、7月末で5人となり、既に昨年1年間の死亡者数4人を上回る状況となっています。

また、近年当署管内で発生している死亡災害の内容をみますと、基本的な安全対策が十分に行われていないことが原因となった例も多数あり、この中には、自社の潜在的な危険性や有害性を洗い出し、未然に対策を講じることにより防ぐことができた災害も少なくありません。

つきましては、死亡災害の防止を目的とし、別添リーフレットを作成しましたので、下記の事項について御留意いただきますとともに、会報、ホームページ、会合等の関係事業者が参集する機会において、傘下の会員事業場に対し、広く周知いただきますようお願いいたします。

なお、別添リーフレットにつきましては、広島労働局ホームページ（トピックス→労働基準監督署からのお知らせ）に掲載しておりますのでご活用ください。

記

リスクアセスメントの実施について

平成17年に労働安全衛生法等が改正され、同法第28条の2によりリスクアセスメントが努力義務となり、また、平成28年6月1日からは、一定の化学物質についてリスクアセスメントの実施が義務化されています。

災害が発生していない職場であっても、潜在的な危険性や有害性は存在しており、これが放置されると、いずれ労働災害が発生する可能性があります。

死亡災害事例等を参考とされ、職場のリスクアセスメントを適正に実施することにより、重篤な災害に繋がる危険の芽を未然に摘み取り、死亡災害の発生を防ぎましょう。

お問い合わせ先	〒720-8503 福山市旭町1-7 福山労働基準監督署 安全衛生課 電話 084-916-3180
---------	---

死亡災害が急増しています！！

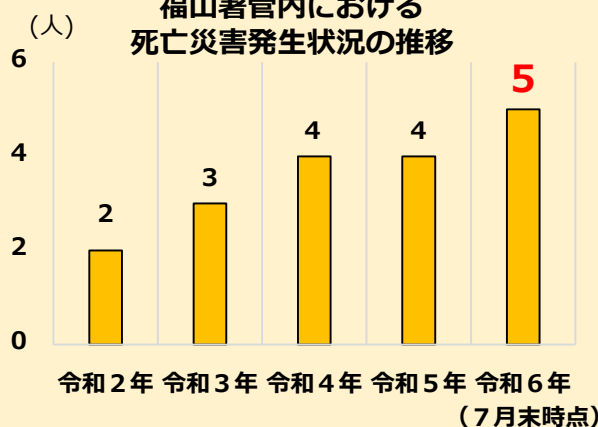
福山署管内では、令和6年7月末時点で、労働災害による死亡者数が5人となり、昨年1年間の死亡者数を既に超え、過去5年間で最も多く、極めて憂慮すべき事態となっています。死亡災害が発生している業種は、製造業、接客娯楽業、建設業、運輸交通業と多岐にわたります。また、休業4日以上の労働災害についても、令和3年同期比で16%増加しており、全産業において、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという強い意志のもと、災害防止に取り組む必要があります。

福山署管内における労働災害の傾向

死亡災害が急増

令和6年7月末時点で既に死亡者数が5人です

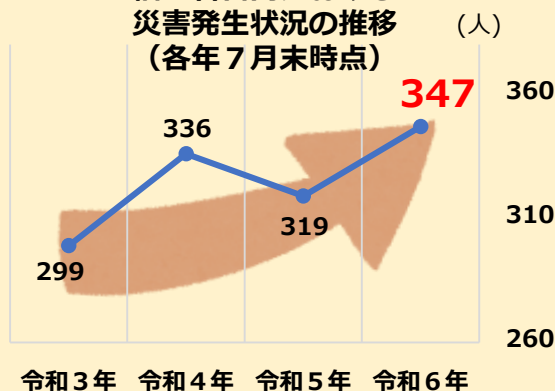
福山署管内における
死亡災害発生状況の推移



休業4日以上の労働災害増加

令和3年同期期と比べ、48人増加しています。

福山署管内における
災害発生状況の推移
(各年7月末時点)



福山署管内の死亡災害事例

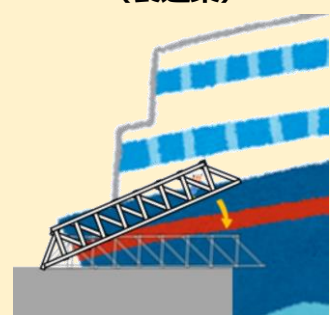
交差点で信号待ちをしていた別のトラックに追突
(運輸交通業)



資材置き場の整理作業中、階段から転落した
(建設業)



乗船タラップ設置作業中に、乗船タラップが横転し、作業員が墜落した
(製造業)



車両整備のため、タイヤと車体の隙間に入り込んでいたら、車体が下がり挟まれた
(運輸交通業)



芝刈り作業中に蜂に刺された
(接客娯楽業)



※イラストはイメージです。

災害防止のためには、未然に危険性・有害性を把握し、その危険性・有害性のリスクを低減させるための対策（リスクアセスメント）が**不可欠**です！
→リスクアセスメントの基本手順については**裏面**で確認！

リスクアセスメントを実施しましょう！

「**リスクアセスメント**」とは、職場の潜在的な危険性又は有害性を見つけ出し、これを除去、低減するための手法です。

災害が発生していない職場であっても作業の潜在的な危険性や有害性は存在しており、これが放置されると、いつかは労働災害が発生します。

そのため、労働災害を防止するためには、リスクアセスメントが**必要**です。

リスクアセスメントの基本手順は4つ👏

➤ **STEP 1 危険性又は有害性の特定**

➤ **STEP 2 リスクの見積り**

➤ **STEP 3 対策の優先度の設定**

➤ **STEP 4 リスク低減対策の検討・実施**

リスクアセスメントの**効果**

- ・ 職場のリスクが明確になる
- ・ 職場のリスクに対する認識を管理者を含め、職場全体で共有が可能
- ・ 安全対策について、合理的な方法で優先順位を決められる
- ・ 残されたリスクについて、「守るべきこと」の理由が明確になる
- ・ 職場全員が参加することにより「危険」に対する感受性が高まる

労働災害の**減少**につながる

リスクアセスメントの基本についてはこちら



【リスクアセスメント実施例】

	対策前						対策後					
	作業頻度	発生の可能性		けがの程度	リスクポイント	リスク	作業頻度	発生の可能性		けがの程度	リスクポイント	リスク
		設備的	人的					設備的	人的			
コンクリート槽上部を点検中、足を踏み外し墜落する。	1	6	2	7	16	Ⅲ	1	1	2	7	11	Ⅱ